

①テーマ

英語ガイド付き熱田ツアー ~熱田区の良さを広めよう~

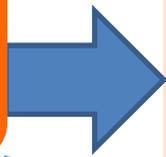


②アイデアのイメージ

今まで伝えることができなかった魅力を言語の壁をこえて届け、知ってもらおう！！

問題点

1. 熱田区への旅行者が少ない
2. 外国人観光客に対してのサポートが少ない
3. 熱田区の魅力が伝わっていない



熱田区には素晴らしい歴史的史跡(熱田神宮、白鳥庭園、白鳥古墳など)があるにも関わらずその魅力があまり知られていない。歴史的史跡は説明を聞きながら見た方がより魅力を感じる。英語でのガイドがないため多くの魅力が伝わらずリピートしてくれる旅行者が増えない。

英語でのガイド付き旅行があれば外国人の方により熱田の魅力を知ってもらえる。魅力が伝わることでまた訪れてもらえるきっかけにもなる。

解決策

ネットで簡単に予約ができる
ガイド派遣サイトをつくる

- ・コース選択
- ・日時選択
- ・ガイド紹介
- ・おすすめスポット紹介
- などを記載する

言語の心配をなくして観光してもらおうことでより楽しんでもらうことができる。



メリット+α

学生が案内するという立場になることで学生たち自身も熱田区の良さを知ることができ、地域愛もわく。熱田区の良さが友達同士で共有され若者にも広がっていく。



それぞれの用途に合わせてコースを選択できるようにする

- ①運営側のおすすめスポットを巡る熱田区ツアーを予約する
- ②旅行者がいきたいところを自由にまわる

<ツアー例> 熱田神宮→熱田神宮宝物館→昼食(おすすめのお店or自分の行きたいお店→上知我麻神社→名古屋港水族館

どのコースにも英語でのガイドがつき案内をする。名古屋学院生は過去に国際会議場にいらした外国人に白鳥庭園を紹介するガイドを行った実績があるため、それを生かして英語で案内をし熱田区の魅力を知ってもらおう。ただ決められたコースだけでなく、旅行者が行きたい場所も行くことができるようにすることで利用者の増加を狙う。

③アイデアの特徴・メリット

このアイデアは熱田区への外国人観光客の増加、熱田区の魅力伝えることを目的とした。熱田区には魅力ある歴史的史跡があるが言語の壁もありその魅力が詳しく伝わっていないと考える。そのような現状を変え熱田区の魅力伝えることができれば熱田区に来てもらえるきっかけになると思い、「英語ガイド派遣サイトの作成&英語ガイド派遣」提案した。このアイデアの良い所はネットでおすすめスポットの紹介やガイドの紹介を事前に情報を提供したうえで、予約が簡単にできるようにすることで気軽に申し込んでもらえるようになり観光客の増加につながると考えた。さらに、サイトにおすすめスポットの回り方を載せて参考にしてもらうだけでなく、旅行者自身の行きたい場所に付き添うことも可能にし、自由度の高いガイドを提案する。またガイドを学生がすることのメリットとして英語力向上はもちろんあるが学生自身も熱田区の魅力を知ることができるということもメリットとしてあげることができる。このアイデアを通して観光客の増加とより多くの人に熱田区の魅力を広めることができるきっかけとなるようにしたい。

提出者

外国語

学部

担当

先生

学籍番号/氏名

①テーマ

みんなの悩みを一挙解決!!!! 一石四鳥!?熱田区民が集うAt homeな交流施設



②アイデアのイメージ

高齢者

課題

高齢者の交流の場が限られている。

影響

人との交流機会が不足することで、心身の弱体化や孤独死の心配がある。



効果

メリット

- ・ 高齢者同士の交流だけでなく外国人、学生、子供をはじめとするたくさんの人と触れ合う機会が増える
- ・ 知識を生かすことが出来る
- ・ たくさんの人とかかわることによって脳トレ、ボケ防止につながる
- ・ 子供に癒される



趣旨

熱田区のシャッター商店街に熱田区民が交流できる場を作り、熱田区に住む高齢者、外国人、待機児童を含む子供をはじめとする人々が交流できるようにする。さまざまな世代や国籍の人の参加を呼び掛けるためコーディネータとして名古屋学院大学の学生がイベントを運営する

外国人

在日外国人の9割が「日本での生活に不便を感じたことがある」と回答(2021年)

課題

在日外国人と日本人との交流の機会が少ないため、日本の文化に触れる機会も少ない。

影響

日本のマナーや風習がわからず、生活に馴染めず、不便や孤独感を感じている。



効果

メリット

- ・ 日本人との交流の機会が増え、文化や風習、マナーが学ぶことができる
- ・ 日本語の学習にもつながる
- ・ 日本人以外と人との交流の機会も増える



交流の場を作る

シャッター商店街を利用し、外国人や高齢者、子供をはじめとする人が集う、世代や国籍にとられない交流の場を作る。

活動内容

熱田区民のために、外国人は日本に、日本人は外国に対する新たな発見を得ながら、相互に交流できる場を作ることを目的とするイベントを行う。

- 【例】月曜日 日本のマナーに関するイベント
- 火曜日 外国の文化を知るイベント
- 水曜日 日本の文化に関するイベント
- 木曜日 食に関するイベント
- 金曜日 脳トレ・クイズ大会

シャッター商店街

課題

シャッター商店街

影響

商店街周辺の治安の悪化の恐れがある。また、熱田区の印象が悪くなってしまう。



効果

メリット

- ・ シャッター商店街にイベントスペースを設けることによってその周辺を利用する消費者が増え、熱田区の活性化につながる



子供

熱田区の隠れ待機児童の数20人(2020年4月)

課題

女性の社会進出による隠れ待機児童や留守番する子供の増加

影響

一人で留守番をしたり外で遊ぶ子供たちが犯罪に遭う可能性がある、また区民が安心して子育てできない。



効果

メリット

【預ける側(保護者)】

- ・ 高齢者は子育て経験のある方が多いため安心して預けることができる
- ・ 1人で家に残すよりも安心して仕事をすることができる

【預けられる側(子供)】

- ・ 世代や人種を超えた、多くの人との交流によって、社会性や協調性、多様性などが身につく



③アイデアの特徴・メリット

熱田区に住む困っている人を助けるため、そして熱田区を活性化するための提言として、さまざまな世代や国籍の人々の交流スペースの設置を提案したい。特に、熱田区の高齢者交流の場の少なさ、外国人が日本での生活に不便を感じていること、待機児童をはじめとする子供の留守番事情、シャッター商店街に注目した。これらの問題を解決するために、シャッター商店街の1店舗に高齢者、外国人、子供をはじめとする熱田区民のための交流の場を作ることを提案する。活動内容としては、月曜日は日本のマナーに関するイベント、火曜日は外国の文化に関するイベント…金曜日は脳トレ・クイズ大会といった日替わりイベントを考えており、そこで区民が新たな発見を得ながら異世代間・異文化間交流ができる場を提供する。このような交流の場を作ることによって、高齢者は人との交流の機会が増えコミュニティの強化につながり、外国人は日本人とかかわりながら、日本のマナーや文化を学ぶことができる。また、隠れ待機児童を含む留守番をしている子供の安全確保・心の育成、シャッター商店街の活性化の解決も見込まれ、熱田区に住む多くの人々に対するメリットが期待される。熱田区に住む人々にとっての交流の場を設定してよりよい暮らしを提供するだけでなく、熱田区をより魅力的な町にすることで、熱田区外の人々にもアピールできる活動のきっかけとしたい。

提出者

外国語

学部

担当

先生

学籍番号/氏名

①テーマ

熱田インフルエンサー feat. Atsutazingu

②アイデアのイメージ

課題 (熱田区民アンケートより)

情報の共有機会が少ない

熱田神宮を生かしたまちづくりをしてほしい

プロジェクトマッピングを熱田神宮に投影!

メリット

出典: <https://meguro.keizai.biz/photo/flash/303/>

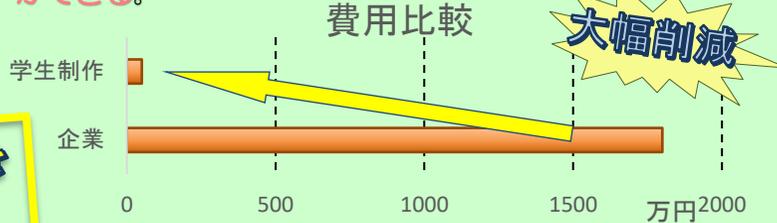
- 若者(10~30代)とファミリー層をターゲットにし、観光客増加が見込める
- プロジェクトマッピングは建物がいかせ、臨場感やインパクトがあり、印象に残る
- 区民の交流、ふれあいの場づくり

③アイデアの特徴・メリット

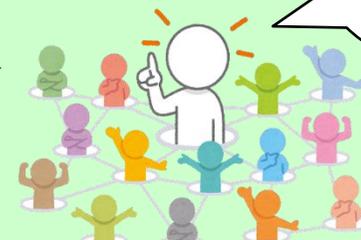
熱田神宮には多くの観光客が訪れ、市内主要施設の中で第1位を誇る熱田区の自慢の観光スポットだ。しかし、熱田神宮にだけ観光に来る人も多いのが現状、どうしたらほかの熱田の観光スポットにも観光客が来てもらえるか、と考へてみたら、やはり熱田区民アンケートにもあるように熱田区にどんなものがあるか情報を知らないからだと考えた。そこで、熱田神宮を活用し、「プロジェクトマッピング」を投影、熱田の様々な情報を発信しようと考えた。この活動を行うことにより、地域資源や、熱田の歴史、伝統、文化のアピールができるほか、若い世代やファミリー層をターゲットにすることにより、熱田区に興味をもってもらいより観光客を増やし、SNSなどで熱田について発信してもらえると考へる。この活動は名古屋学院の学生が行うことにより、企業に依頼してプロジェクトマッピングをするよりも、大幅に経費が削れ、長期間の活動ができる。また、プロジェクトマッピングの製作をするにあたり、どんなことを観光客にアピールしたいかや、熱田区にはどんな魅力的なものがあるかなど、区民間の交流もでき、文化活動の交流も深められる。それに加え、投影する画像を熱田区の小さな子供からお年寄りの方々まで募集を行う。これにより、地域全体でこの活動を盛り上げることができる。この活動を通して様々な人に熱田区の魅力を美しい映像を通して発信していき、熱田神宮から熱田を盛り上げていきたいと考えた。

・学生が主体となって映像制作をする

プロジェクトマッピングを企業に依頼すると1800万円以上かかる。しかし、学生が製作することによって費用がPCとアプリ、プロジェクターのみとなり、**長期間の活動ができる。**



一緒に熱田を盛り上げましょう!



地域の方々（小さい子供から高齢者まで）から投影する画像を募集

https://www.irasutoya.com/2018/02/blog-post_356.html

・様々な人と作り上げる

子ども、大人など分野を分けて投影する**画像を応募する**。描いてもらった絵を映像内で使うことによってより、特に子どもの場合は**ファミリー層の関心を向上**期待できる。

・朔日市に合わせて定期的に投影会を開催

朔日市で年に4回の投影会（その季節に合わせて、投影する映像の雰囲気を変えていく。新しく情報を加えるための期間も必要。）をすることで、より多くの人達に見てをらえる。



<https://www.sankei.com/photo/story/expand/150926/sty1509260002-p4.html>

・プロジェクトマッピングで熱田の情報を発信

熱田を観光する、歴史が学べる、熱田の文化、商店街のお店紹介など投影内容を工夫することにより、様々な情報を発信。**SNSで拡散**しやすいため、より多くの人に見てもらえ、**情報を受け取りやすい**。熱田神宮という歴史ある史跡と**サブカルチャーをコラボ**することで、**話題性が高い**

あつた蓬莱軒



<https://www.tsudaar-studio.co.jp/blog/townscape/blog/2963/>

<https://www.houraiken.com/hitsumabushi.html>

提出者

外国語

学部

担当

先生

学籍番号/氏名